

その他

検査や治療を受ける際の注意事項	121
航空機搭乗時の注意点	122
航空機利用時の流れ	122
事前の準備	123
空港で	124
機内で	124
英語版の医療機器情報	125
ヴィアレブコールセンターのご案内	126
大切なメモ・緊急時の連絡先	127

検査や治療を受ける際の注意事項

ポンプは精密機器です。検査や治療によっては、ポンプの動作に影響を与える可能性がありますので、ポンプを取り外していただく場合があります。

事前に医師に相談して、ご不明な点があればコールセンターにお問い合わせください。

 **ポンプを取り外す場合は、[お風呂の手順(短時間のポンプの取り外しと再接続)]を参照してください。**

●ポンプを取り外す必要がない場合

検査または治療	注意事項
放射線検査	単純X線(レントゲン)撮影による、胸腹部・骨・歯科領域の検査はポンプに影響を与えませんが取り外す必要はありません。

●ポンプを取り外す必要がある場合

以下の場合、検査に支障があったり、ポンプが故障する可能性がありますので取り外してください。

検査または治療	注意事項
放射線検査	<ul style="list-style-type: none">●画像にポンプが映りこんで支障がある場合●胃X線バリウム検査(体を回転させるのでポンプが安定しないため)●CT検査、PET検査などドーム型の検査機器に入る場合
放射線治療	取り外したポンプを近くに置く場合は、遮蔽する ^{しへい} 必要がありますので医師の指示に従ってください。 治療終了後にはポンプが正常に作動しているかどうかを必ず確認してください。
MRI検査	取り外したポンプは本検査室に持ち込まないでください。
超音波検査・治療	取り外したポンプは本検査・治療室には持ち込まないでください。
高圧酸素療法	取り外したポンプは本治療室には持ち込まないでください。
電位治療機器	取り外したポンプは治療器の近くに置かないでください。

航空機搭乗時の注意点

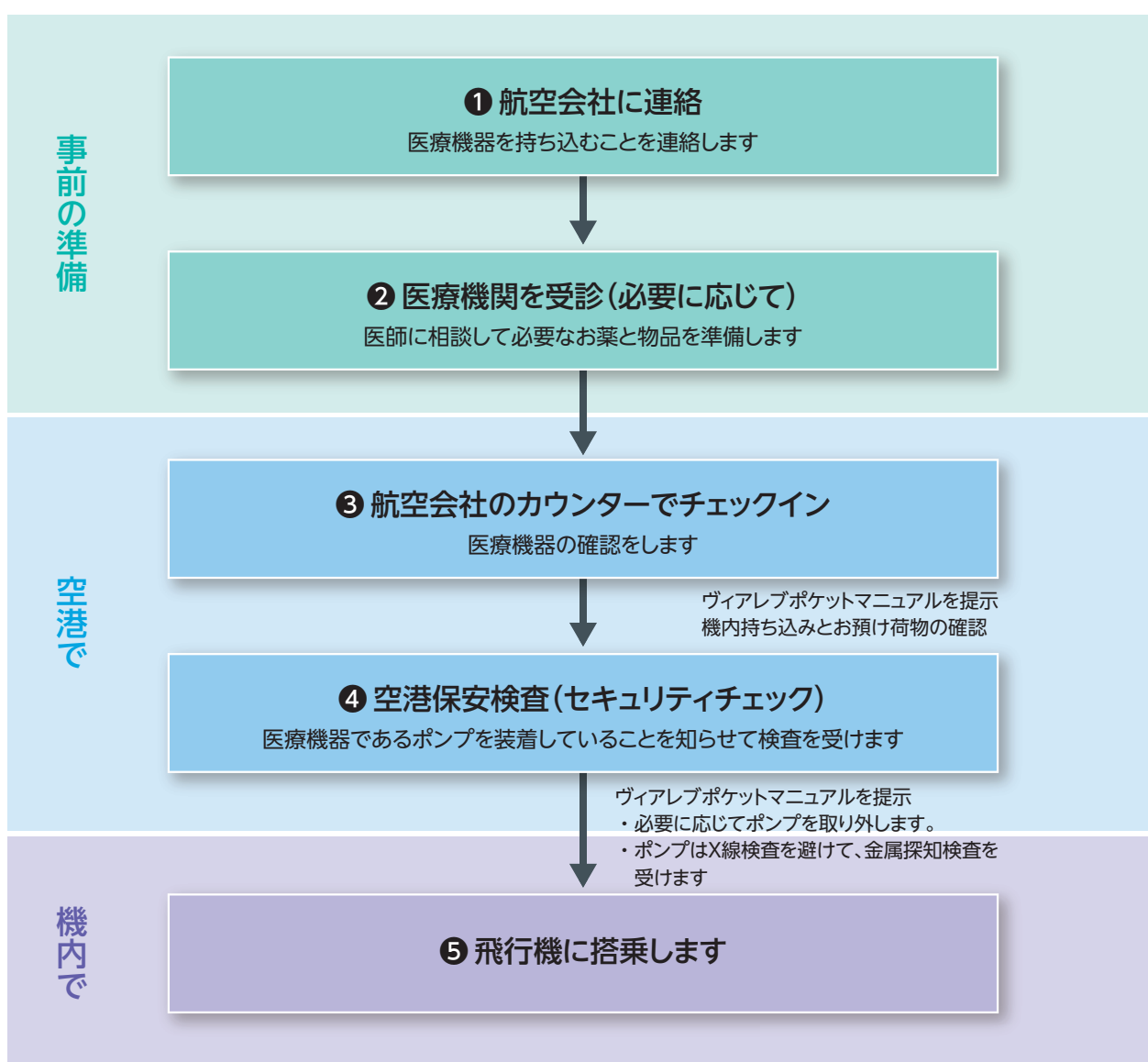
航空機利用時の流れ

ヴィアレブによる治療を行いながら国内線や国際線の航空機をご利用いただくことができます。

ここでは搭乗に際しての必要な手順を説明します。

ヴィアレブポケットマニュアルの【航空機利用の手引き】を必要な場面で提示するとスムーズです。

 ポンプを取り外す場合は、【お風呂の手順(短時間のポンプの取り外しと再接続)】を参照してください。



空港ではポケットマニュアルを提示するとスムーズです



事前の準備

① 航空会社に医療機器を機内持ち込みすることを連絡します。

ご使用のポンプは、電波を発する電子機器ではありませんので、航空機内に持ち込むことができます。

航空券の予約時に、機内持ち込みする医療機器について航空会社に連絡してください。また、旅行会社のツアーの場合は、旅行会社にご相談ください。

● 航空会社にお知らせする概要

医療機器名	輸液ポンプ
メーカー名	アルフレッサファーマ(株)／フィリップスメディサイズ社
製品名	ヴィアフューザー
型番	無
電池	リチウムイオン電池3.6V(8.46Wh)
サイズと重さ	17cm×7.6cm×3.3cm(285g) *電池込み

* ポンプの交換用電池は機内持ち込みにします。(リチウムイオン電池なので預け荷物にはできません)

* 治療にかかる輸液セットや他の物品は危険物に該当しませんので事前連絡の必要はありません。

② 医療機関を受診します(必要に応じて)。

早めに旅行計画を医師に相談して、必要数の薬剤と物品、緊急時用の経口レボドパ製剤の準備をします。

● 旅行の際のチェックリスト

旅程に応じて持参するもの
<input type="checkbox"/> 薬液バイアル必要数(予備も含める)
<input type="checkbox"/> 交換用の物品 <ul style="list-style-type: none">● シリンジ● バイアルアダプタ● 輸液セット● アルコール消毒綿● ペーパータオル
<input type="checkbox"/> ポンプの交換用電池+充電器(旅先で置き忘れないようにしてください)
<input type="checkbox"/> 保護カバー(カニューレ側・チューブ側)
<input type="checkbox"/> 緊急時用の経口レボドパ製剤
<input type="checkbox"/> 併用薬、必要に応じたお薬
<input type="checkbox"/> 使用済みの物品(医療廃棄物)を持ち帰るための容器や袋など
<input type="checkbox"/> ヴィアレブポケットマニュアル
<input type="checkbox"/> お薬手帳

早めの準備で安心して旅行を楽しみましょう。



* 気温が30℃を超える場合には、薬液は保冷バッグに入れて持ち運ぶようにしましょう。

空港で

③ 航空会社の搭乗手続きカウンターでチェックイン。

医療機器を機内に持ち込むことを伝えて、予約時に連絡した医療機器情報を確認します。

- * ポンプの交換用電池は機内持ち込みにします。
(リチウムイオン電池なので預け荷物にはできません)
- * 治療にかかる輸液セットや他の物品は危険物に該当しません。

● 機内持ち込みにする主なもの

<input type="checkbox"/> 身につけたポンプ
<input type="checkbox"/> ポンプの交換用電池
<input type="checkbox"/> 緊急対応用の経口レボドパ製剤
<input type="checkbox"/> 機内でシリンジを交換する場合は、必要な薬剤と物品、および廃棄物を持ち帰るための容器や袋
<input type="checkbox"/> 輸液セットの保護カバー(カニューレ側・サイトコネクタ側)



保安検査に時間がかかることがありますので早めに検査を受けてください。



④ 空港保安検査(セキュリティチェック)

ヴィアレブポケットマニュアルの[航空機利用の手引き]を検査場係員に提示しましょう。

- * ポンプをX線ボディスキャナーや手荷物X線検査にかけないでください。
ポンプは、接触検査または金属探知検査を依頼してください。
- * X線ボディスキャナーを受ける際は、直前にポンプを停止させてからポンプを取り外して検査を受けます。検査後はすみやかにポンプを再度装着してください。

 ポンプを取り外す場合は、[お風呂の手順(短時間のポンプの取り外しと再接続)]を参照してください。

機内で

機内に持ち込んだ緊急時用の経口レボドパ製剤は取り出しやすい場所に置きます。
機内でお薬や物品の交換をした場合は、使用済みの物品は必ず持ち帰り、規定の方法で廃棄してください。

英語版の医療機器情報

海外の空港検査場では、ヴィアレブポケットマニュアルの[航空機利用の手引き]を提示するとスムーズです。

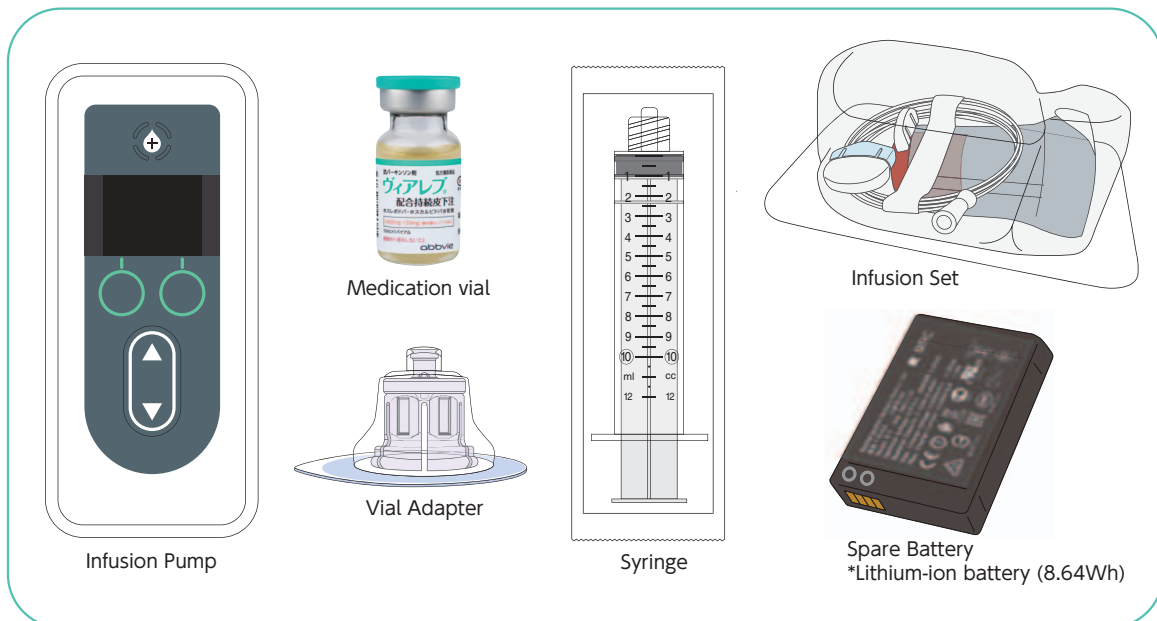
Medical Device Information

I wear a prescribed medical device for the treatment of Parkinson's disease.
This is a portable infusion pump intended for medicine with subcutaneous administration.

Medical Device type	Infusion Pump
Name of Manufacturer	Philips Medisize/Alfresa Pharma Inc.
Product name	Vyafuser
Model Number	NA
Buttery	Lithium-ion battery 3.6V (8.46Wh)
Size, Weight	17cm × 7.6cm × 3.3cm, 285g

- This pump does not emit electromagnetic waves. Therefore, it can be taken on a plane.
- **Do not expose this pump to any radiation (such as X-ray, MRI, CT scan).**
- **This pump is to be examined by a metal detector.**
- When an X-ray is required, please remove the pump from the cannula.
After scanning, please make sure to re-connect the pump.

My medication system (carry-on products)



ヴィアレブコールセンターのご案内

ヴィアレブコールセンターは、より良い治療をお手伝いさせていただくために設立された、患者さん専用のコールセンターです。

ヴィアレブの治療に関すること、質問や困ったことがあれば、

いつでも、お気軽にお電話ください。

24時間365日、看護師が対応しています。

何度でもお問い合わせください。

ポンプの操作などは慣れるまでには時間がかかることが多いものです。

わからないことがあれば、何度でもお電話ください。

どんなことでもお電話ください。

薬剤やポンプ、物品の交換について、その他日常生活での留意点など、治療を適切に続けていただくためのお手伝いをいたします。

わかりにくいことがあれば、どんなことでもお電話ください。

ヴィアレブコールセンターにお電話いただいた場合でも、

下記については、患者さんからおかかりの医療機関へご連絡をお願いする場合がございます。

- お体(症状)の変調にかかわること。
- 薬剤の用量調整や治療方針にかかわること。
- ポンプの不具合による交換など

(お電話口でポンプ操作等を一緒に行っても不具合が解消しない場合)

ヴィアレブ コールセンター

フリーダイヤル

0120-062-510

受付時間：24時間365日〈通話無料〉



わからないことがあれば
いつでもお電話ください。
お待ちしております。

患者さんや
介護者の方々から
のお電話をお受けして
います。

大切なメモ・緊急時の連絡先

医師の指示などをもとに、医療従事者と一緒に記入しましょう。

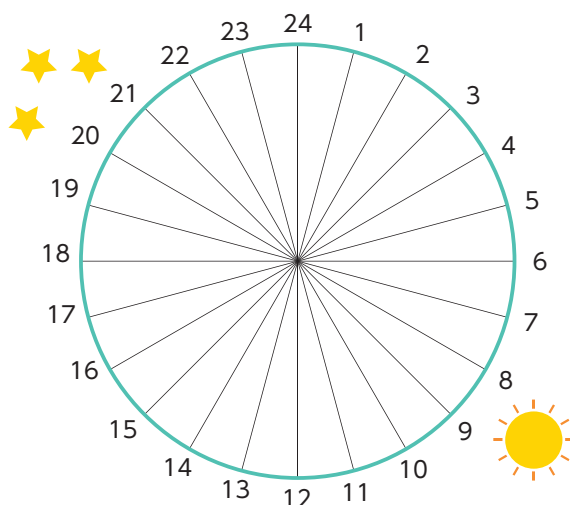
シリンジの交換時間	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 1回目 午前・午後 時ごろ </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 2回目 (2バイアル使用する方のみ) 午前・午後 時ごろ </div>				
電池の交換	毎日1回交換します。					
輸液セットの交換	_____日に1回交換します。 * 最長で3日間使用可能です。					
流量変更	指示があった項目に「✓」をいれてください。					
	投与流量	設定 有無	通常	ときどき 例：外出時	備考	
	標準	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	日中	寝る時		
	少め		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ()	
	多め		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ()	
	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ()		
追加投与 (ロックアウト時間： 時間)	指示があった項目に「✓」を入れてください。 <input type="checkbox"/> 日中急なオフになったとき <input type="checkbox"/> お風呂やシャワーの前 <input type="checkbox"/> 起床時 <input type="checkbox"/> 検査などで一時的にポンプを取り外すとき <input type="checkbox"/> その他 ()					
経口レボドパ製剤 ・お薬名 _____ ・用量 _____	指示があった項目に「✓」を入れてください。 <服用のタイミング> <input type="checkbox"/> ポンプや物品のトラブルでヴィアレブの投与ができないとき <input type="checkbox"/> ヴィアレブの投与を中止にする場合 <input type="checkbox"/> 起床時 <input type="checkbox"/> その他 ()					
負荷投与 (ロックアウト時間： 時間)	指示があった項目に「✓」を入れてください。 <input type="checkbox"/> ポンプを3時間以上使用していなかった場合 <input type="checkbox"/> その他 ()					

<私の1日の治療スケジュール>

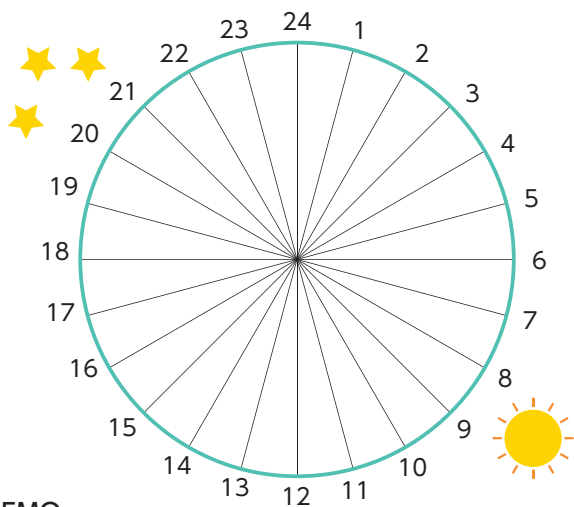
例

MEMO

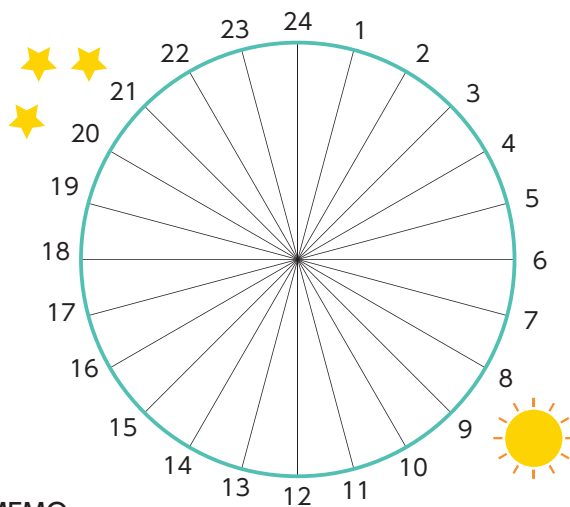
- 起きたら流量を「標準」に変更する
- 寝るときに「少め」に変更する
- シリンジ、輸液セットの交換は13時に行う
- 輸液セットは3日に1回交換する



MEMO



MEMO



MEMO

緊急時の連絡先

医療機関名	
担当医師名	
電話番号 FAX番号	